

このまちで生きている
私たちが考える。

地域の「幸せ」を考える。

岩国市には約790の自治会があり、それぞれの地域で普段から支え合いや助け合いの関係づくりに取り組んでいます。今なぜ地域でつながりを持つことが必要なのでしょうか。自治会で行う地域づくりの取り組みとともに紹介します。

自治会でつながり、このまちで幸せに暮らすヒントや安心できる居場所をつくっていきませんか。お住まいの地域の自治会が分からない場合はお気軽に市民協働推進課、総合支所地域振興課または支所へ問い合わせてください。

市民協働推進課 ☎(29)5015、総合支所地域振興課、支所



インタビュー

6月に御庄地区で「御庄まちづくり協議会」が設立されました。

きっかけは御庄地区に公民館に代わる新しい拠点施設ができることから。

新しい拠点施設で「あったらいいな」「こんなことができたらいいな」そんな話し合いの中で、地域の良ところや課題に目を向け、伸ばしていこう!と自分たちの地域の将来について、みんなで意見を出し合っていくことを決め、協議会を立ち上げました。

協議会の土屋会長に協議会設立に当たったの思いを聞きました。



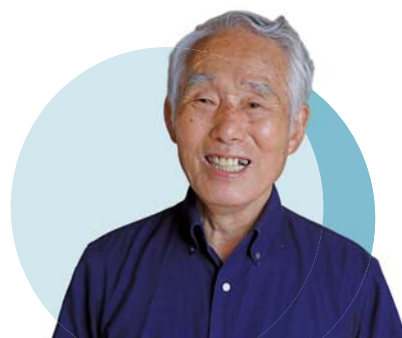
新しい拠点施設の理想像や地域の課題などについて、ワークショップ形式で話し合っています

地域の課題を地域で考え、 解決できるようなまちづくりを

以前は地域の人の顔を見ればみんな知っているのが当たり前でしたが、最近では自治会に加入しない人も多く、つながり作りが難しい状況です。

今回の協議会立ち上げに向け、御庄地区に住む全世帯に対し、御庄まちづくりアンケートを実施しました。その中で地域の良いところ、改善点などについても聞きました。そこで出た意見に対してこのまちに住み、これからもここで安心して住み続けるためにどうしたらいいかを地域の人みんなで一緒に知恵を出し合っていくことができたらいなと思っています。

地域の課題は協議会だけで解決できるものではありません。地域内でつながり、顔を見て安心できる相手がいる。そんな地域になっていけるよう活動を展開していきたいです。



御庄地区自治会連合会
土屋賦雄会長

＼地域づくりワークショップを開いています／



市では、地域が主体的に実施している事業と地域が抱える課題を重要性や緊急性などに応じて地域で主体的に整理し、地域活動をより充実したものとするために地域づくりワークショップを実施しています。

～ワークショップより～
室の木・川西・平田・通津地区の様子

地域づくりワークショップって？

地域課題をテーマに参加者が主体的に意見を出し合い、色々な考えに触れることができる話し合い活動のこと。ほかの地域の事業実施の手法など、知恵の共有や事業の整理につながる利点がある。

地域づくりって？

今後人口が減っていく中で、人が減っても幸せが減らない地域、元気であり続けることができる地域を目指し、地域の課題を地域の人みんなで解決する取り組みのこと。

地域のいいところと地域の課題を考えてみよう！



私の地域のいいところは、みんながよくあいさつをしているところだよ。あいさつすることで地域のつながりが生まれるね。



うちの地域は自治会役員のなり手不足が課題だな。



自治会役員のなり手が不足している原因を考えてみよう。



役員がどういう活動をしているか分からないので、荷が重く感じる人がいるかもしれないね。



役員の活動内容を皆さんに伝えられるような仕組みづくりをしてみたらどうか。



誰でも役員の仕事が簡単にできるような「自治会知恵袋」を作ってみるのがいいかもね！



人・まち・住まい研究所
地域づくりコーディネーター
浅見雅之氏

地域づくりを進めていくために

地域づくりを進めていくためには、年齢や性別の区別なく皆さんがお互いの意見を自由に言えるような話し合いをしていくことが重要です。話し合いを通じて、みんなが意見を出し合い、地域課題の解決方法を考えていくことは、とてもクリエイティブで楽しいことだと言えるのではないのでしょうか。

会議や話し合いはできるだけオープンにし、そこで話し合われた内容もできるだけオープンにすることで、より多くの人達の納得を引き出しながら地域づくりを進めていくことが大切です。